



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役サポート本部長 (氏名) 平田 慶介 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,508	△11.9	977	23.6	1,271	18.7	796	16.8
2020年3月期第3四半期	42,558	△5.0	790	19.9	1,070	15.6	682	17.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,015百万円(15.4%) 2020年3月期第3四半期 879百万円(178.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	133.35	—
2020年3月期第3四半期	113.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,547	17,093	48.7
2020年3月期	34,641	16,717	47.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,816百万円 2020年3月期 16,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	20.00	—		
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,613	△17.0	1,117	△6.5	1,486	△8.4	837	63.8	139.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,100,503株	2020年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	302,569株	2020年3月期	84,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,974,182株	2020年3月期3Q	6,028,875株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、個人消費・経済活動が大きく落ち込んだものの、特別定額給付金やGOTOキャンペーン等の政策により持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、年末にかけて感染者数は再び増加・拡大傾向にあり、今後も個人消費・経済活動は厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅・分散勤務や時差出勤を行い、店舗における「3密」(密閉・密接・密集)の回避や訪問による営業活動の自粛などの対策を講じました。訪問営業を自粛・制限せざるを得ないことから、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした活動を行い、収益確保に努めました。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で燃料油やLPガスの需要が減少したことに加え、原油価格が前期に比べ低調に推移したことにより、燃料油やLPガスの販売価格が低下した影響等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は375億8百万円(前年同四半期比11.9%減)となりましたが、利益面ではガソリンなど石油製品市況が好転したことや、KFC・ピザハットにおいてテイクアウト需要の増加で好調だったことにより、経常利益は12億71百万円(前年同四半期比18.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円(前年同四半期比16.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により石油製品の販売数量が減少する中、営業効率を高めるため法人カード業務を集約管理するとともに、FCカード請求書の発行業務を外部に委託することで事務作業の効率化を図りました。

ガス部門では、面談による営業活動を自粛する中、入札案件への積極的参加及び季刊誌や時季商品を取り扱ったチラシのポスティングをメインとした活動を行い、収益確保に努めました。また、令和2年7月の熊本県南部豪雨災害で浸水の被害を受けた人吉オートガスSS(熊本県人吉市)につきましては、新たな設備投資の回収が見込めないと判断し、8月末で閉店いたしました。

以上の結果、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で燃料油や業務用におけるLPガスの需要が減少したことに加え、原油価格が前期に比べ低調に推移したことにより、燃料油やLPガスの販売価格が低下した影響等から、売上高は268億5百万円(前年同四半期比18.4%減)となりましたが、ガソリンなど石油製品市況が好転したことにより、セグメント利益(営業利益)は7億59百万円(前年同四半期比16.8%増)となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、学校の休校等により自宅待機となった学生や児童向けの自宅学習用の参考書や児童書・実用書の販売の強化を行いました。また、企業や学校等がテレワーク・遠隔授業を実施したことに伴い、パソコン・タブレット需要が増加しました。

オプシアミスミでは、お客様・従業員の安全確保を第一に、施設内のソーシャルディスタンス確保等、感染拡大防止策を実施するとともに、飲食店の持ち帰り共同販売所を設置しました。

以上の結果、売上高は59億65百万円(前年同四半期比12.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1億84百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるKFCにおいて、店舗の改装を進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底させ、収益改善に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、店内飲食の中止等を実施しましたが、お客様の「3密」を避ける動きにより、KFCのテイクアウト需要及びピザハットの宅配が大幅に増加しました。一方、採算の悪化していた八八レム鹿児島店(鹿児島市)を9月末で閉店いたしました。

以上の結果、売上高は47億38百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益(営業利益)は5億84百万円(前年同四半期比21.4%増)となりました。

(上記金額には、消費税等は含まれておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて94百万円減少し、345億47百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加する一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べて4億70百万円減少し、174億53百万円となりました。これは主に、未払金や買掛金が増加する一方、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べて3億76百万円増加し、170億93百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2020年11月11日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,087,102	4,466,341
受取手形及び売掛金	4,200,017	4,857,530
商品及び製品	2,636,924	2,692,534
仕掛品	21,602	14,098
原材料及び貯蔵品	30,053	23,795
その他	487,721	773,740
貸倒引当金	△17,848	△20,644
流動資産合計	13,445,574	12,807,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,899,818	4,111,059
土地	11,885,258	11,900,788
その他（純額）	1,097,069	1,320,628
有形固定資産合計	16,882,145	17,332,476
無形固定資産	435,062	395,368
投資その他の資産		
その他	4,055,957	4,193,731
貸倒引当金	△177,354	△181,740
投資その他の資産合計	3,878,603	4,011,990
固定資産合計	21,195,811	21,739,836
資産合計	34,641,385	34,547,232
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,923,996	2,287,444
短期借入金	4,285,000	4,255,000
1年内返済予定の長期借入金	2,752,000	2,827,000
未払法人税等	377,108	146,282
賞与引当金	269,060	167,992
その他	1,494,780	1,932,127
流動負債合計	11,101,945	11,615,846
固定負債		
長期借入金	5,070,989	4,051,989
役員退職慰労引当金	705,100	720,530
その他	1,045,604	1,065,067
固定負債合計	6,821,693	5,837,586
負債合計	17,923,639	17,453,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	13,078,170	13,634,386
自己株式	△143,004	△534,888
株主資本合計	16,272,666	16,436,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339,314	513,531
退職給付に係る調整累計額	△166,625	△133,750
その他の包括利益累計額合計	172,689	379,781
非支配株主持分	272,390	277,019
純資産合計	16,717,746	17,093,799
負債純資産合計	34,641,385	34,547,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	42,558,054	37,508,731
売上原価	33,535,786	28,085,696
売上総利益	9,022,268	9,423,034
販売費及び一般管理費	8,231,652	8,445,836
営業利益	790,615	977,198
営業外収益		
受取利息	2,134	2,010
受取配当金	57,888	57,166
受取賃貸料	100,676	110,095
その他	227,092	236,885
営業外収益合計	387,791	406,158
営業外費用		
支払利息	43,507	37,210
賃貸費用	26,403	28,970
固定資産除却損	16,445	22,317
その他	21,068	23,361
営業外費用合計	107,424	111,859
経常利益	1,070,983	1,271,496
特別利益		
固定資産売却益	12,510	2,533
特別利益合計	12,510	2,533
特別損失		
固定資産売却損	1,756	—
災害による損失	—	54,365
特別損失合計	1,756	54,365
税金等調整前四半期純利益	1,081,737	1,219,663
法人税、住民税及び事業税	327,597	361,635
法人税等調整額	56,555	50,961
法人税等合計	384,153	412,597
四半期純利益	697,584	807,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,512	10,391
親会社株主に帰属する四半期純利益	682,072	796,674

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	697,584	807,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,024	174,217
退職給付に係る調整額	13,764	33,857
その他の包括利益合計	181,788	208,074
四半期包括利益	879,373	1,015,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863,320	1,003,766
非支配株主に係る四半期包括利益	16,052	11,374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,835,244	5,328,576	4,394,233	42,558,054	—	42,558,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,982	70,077	2,858	89,918	△89,918	—
計	32,852,227	5,398,654	4,397,091	42,647,973	△89,918	42,558,054
セグメント利益	650,071	168,598	481,411	1,300,081	△509,466	790,615

(注) 1 セグメント利益の調整額△509,466千円には、セグメント間取引消去3,565千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△513,031千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,805,255	5,965,409	4,738,066	37,508,731	—	37,508,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,203	73,119	7	86,329	△86,329	—
計	26,818,458	6,038,529	4,738,073	37,595,061	△86,329	37,508,731
セグメント利益	759,152	184,243	584,460	1,527,856	△550,658	977,198

(注) 1 セグメント利益の調整額△550,658千円には、セグメント間取引消去2,504千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,163千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。